



日本共産党 北区議会議員

のの山けん 区政レポート

https://ken-nonoyama.com/ mail@ken-nonoyama.com

No.749 2025.4.2

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は
お気軽に **090-2156-3510**

STOP! 地球温暖化

宮本徹前衆院議員、せいの恵子前区議が環境政策を訴え



宮本徹前衆院議員



せいの恵子前区議

3月28日、日本共産党東京都委員会が赤羽駅東口で、気候危機打開アクションを開催、宮本徹前衆院議員と、せいの恵子前区議が訴えました。宮本前衆院議員は、いま人類が力をあわせて地球温暖化対策に取り組まなくてはならないのに、日本政府はCO2の削減目標

日本共産党東京都委員会が赤羽駅東口で気候危機打開アクション

でも省エネ・再エネ導入でも後ろ向きだと批判。その背景には、石炭火力発電や原発に固執する電力業界から自民党への献金の流れがあるとして、気候危機打開のためにも、企業・団体献金をきっぱり禁止すべきと訴えました。

せいの前区議は、異常気象が森林火災、大雨、台風などの被害を引き起こしていることに警告を発するとともに、大規模な駅前再開発やタワーマンション建設が莫大なCO2を排出し、樹木の伐採など貴重な緑を消失させることにつながっていることを告発。大型開発を見直し、修復型のまちづくりを転換すべきと訴えました。

(のの山けん)

マラソン会場 スポーツで要求対話

気軽に楽しめる環境を

3月31日、荒川河川敷で開催された新日本スポーツ連盟「東京さくらマラソン」会場で、日本共産党スポーツ後援会のみなさんと一緒に「スポーツを気軽に楽しめる環境をつくりましょう」と訴え、参加者から要望を聞き取りました。(のの山けん)



はたの君枝元衆院議員(左)、せいの恵子前区議(中)、そねはじめ都議(右)と = 3月31日、荒川河川敷

中野サンプラザ跡地計画「白紙」に

行きづまる タワマン再開発

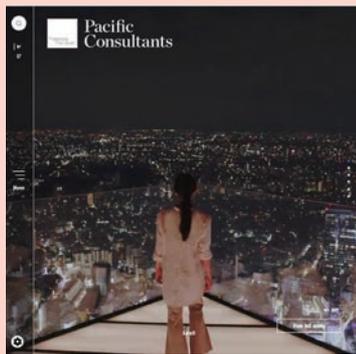


中野駅前再開発事業完成イメージ(上)と整備エリア図(下)

中野区は3月11日、中野サンプラザと区庁舎跡地に予定している再開発について、現在の枠組みでの計画を断念する方針を明らかにしました。この計画は、老朽化のため、50年の歴史を閉じた中野サンプラザに代わり、その役割を受け継ぐ多目的ホールを、住宅やオフィスなどとともに建設するもので、複数の事業者に提案を募り、野村不動産を代表とする事業者の案を採用して、262メートルの超高層ビルを建設する内容が進められていました。

ところが、建設コストの急騰によって当初の事業費1810億円が、昨年10月には約2倍の3500億円余に跳ね上がり、事業者が都への認可申請を取り下げざるを得なくなりました。今年1月には野村不動産が採算性を確保するため、ビルを2棟にする見直し案を示しましたが、区は「提案は十分ではない」とし、採用しませんでした。昨今のタワマン再開発の行きづまりを象徴する事例の一つです。(のの山けん)

赤羽駅東口まちづくりガイドライン及びまちづくり整備計画 区が2社JVに策定支援業務を委託



パシフィックコンサルタンツ株式会社のホームページ



公益社団法人日本交通計画協会のホームページ

北区はこのほど、赤羽駅東口まちづくりガイドライン及びまちづくり整備計画策定支援業務委託のプロポーザル結果を公表しました。契約交渉順位第1位となったのは、大手建設コンサルタントのパシフィックコンサルタンツ株式会社と、公益社団法人日本交通計画協会によるJV(共同企業体)です。(のの山けん)